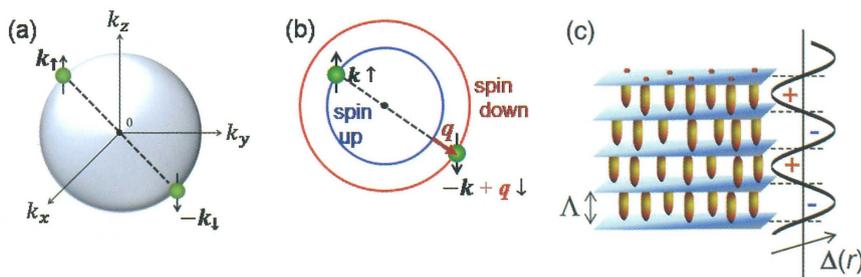
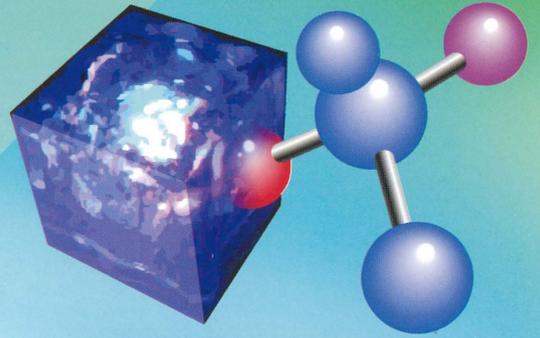


# 京都大学 物性科学 センター誌

(LTM センター誌)



## Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]



(a)BCS 状態( $k \uparrow$ ,  $-k \downarrow$ ). (b)FFLO 状態( $k \uparrow$ ,  $-k + q \downarrow$ ). (c)実空間における秩序変数の変調とノード構造により細断された渦糸構造の模式図

第38号  
2021. 6

# 目 次

第 38 号 2021 年 6 月

## 研究ノート

超伝導ダイオード効果の観測

..... 安藤冬希, 小野輝男 ... 3

FeSe における Fulde-Ferrell-Larkin-Ovchinnikov 超伝導

..... 笠原 成 ... 9

## 運営状況

寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 20

寒剤供給関係業務担当者, ヘリウムガス回収中継所責任者..... 22

環境安全保健機構併任教員..... 23

環境安全保健機構低温物質専門委員会委員..... 24

投稿案内..... 25

編集後記..... 26

Table of Contents

**Research Reports**

Observation of Superconducting Diode Effect  
..... Fuyuki Ando, Teruo Ono ... 3

Fulde-Ferrell-Larkin-Ovchinnikov Superconducting State in FeSe  
..... Shigeru Kasahara ... 9

**From Organizing Committee**

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus  
..... 20

Staffs contributing to Cryogen Supply and Responsible Persons for He Gas Recovery Stations  
..... 22

Concurrent Staffs of the LTM Center ..... 23

Member of the Committee ..... 24

**Call for Manuscript** ..... 25

**Editor's Note** ..... 26

「京都大学物性科学センター誌 (LTMセンター誌)」への投稿のお誘い  
並びに原稿の作成要領  
Call for Manuscripts for  
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良<sup>1,2</sup>, 編集委員会<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科, <sup>2</sup>京都大学物性科学センター

K. Yoshimura<sup>1,2</sup> and Editorial Committee<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Graduate School of Science, Kyoto University,

<sup>2</sup>Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

## 1. はじめに

「京都大学物性科学センター誌 (通称: LTM センター誌, 英文名: Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University))」では, 環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」, 「技術ノート」, 「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は, 編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては, 電子ファイルを下記†宛にお送りください。また, 併せて印刷原稿も†宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので, 以下第2章を御参照のうえ MS-Word を用いて作成してください。 InDesign または QuarkXPress のファイルでも結構です。また, pdf ファイルも併せてお送りください。なお, 編集委員会からの原稿依頼も行いますので, 依頼させていただいた際にはよろしくお申し上げます。

## 2. 原稿の作成要領

A4用紙 (レターサイズではありません) の上下左右に 25 mm ずつマージンをとって, 和文表題, 英文表題, 和文著者・所属, 英文著者・所属, アブストラクト (英文), 本文, 参考文献, 著者写真 (35mm (幅) ×40mm (高さ)), 著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は, 必ず上から 5 cm 程度余白を空けて表題を書いてください。本文 1 行あたり全角 45 文字, 1 ページあたり 40 行を基準にしてください。漢字・かな・カナには MS明朝, 英字・数字には必ず Times New Roman, 本文中の見出しには MS ゴシック (またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。) を使用してください。表題は 14 point, 著者・所属は 12 point, 本文は 10.5 point, 図・表のキャプションは 10 point の文字を用いてください。本文中, 物理記号を表す記号は斜体 (イタリック), 単位記号は立体 (ローマン) で表記し, 物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを 1 個入れてください。また, 章の間にもスペースを 1 行設けてください。句読点は「.,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので, できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については, 本稿ならびに下記 Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

## 参考文献

[引用番号] 著者名, 雑誌名, 巻数, 最初のページ番号, 年の順でお願いします。  
例)

[1] 寺嶋孝仁, 京都大学物性科学センター誌 **30**, 26 (2016).

[2] K. Yoshimura, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

† 京都大学物性科学センター誌編集委員会, 〒606-8501京都市左京区吉田本町,  
TEL : 075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: [terashim@scl.kyoto-u.ac.jp](mailto:terashim@scl.kyoto-u.ac.jp) (寺嶋孝仁) .

## 編集後記

コロナ禍で外出が減り自宅にいる機会が増えたため、片づけや整理を行う人も多いのではないだろうか。私もその一人である。それで最近はっきり分かったことがある。それは段ボールこそが片付けの最大の敵であり、段ボールを無くすことが重要だということである。

良く整理された空間を想像して頂きたい。そこに段ボールがあるだろうか？それは無い。やはり段ボールに物を押し込んでいては何時まで経っても片付かない。そう思って研究室もチェックしてみると、やはり段ボールがあちらこちらにあることに気づく。段ボールと戦う日々は続きそうである。話は変わるが、最近ようやくコロナのワクチン接種が進んできた。ワクチンも保存に冷凍や冷蔵が必要とのことで、低温技術は無くしてはならないものである。今年度の初めの頃に学生実験で低温に関する実験を行った。大学生になったばかりの学生らは液体窒素を使った実験を楽しそうに行っていたが、それからしばらくするとコロナの感染拡大でオンラインでの実験に切り替わってしまった。実験はやはり自分自身で体験するのが醍醐味なので、ワクチン接種が加速して早く通常の対面授業に戻ってほしいと願っている。

M. M.

京都大学 物性科学センター誌 (LTM センター誌)

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第38号 2021年6月 Volume 38, June 2021

編集委員会：寺嶋 孝仁 (編集委員長), 吉村一良,  
矢持 秀起, 石田 憲二, 中村 裕之,  
笠原 裕一, 藤原 直樹, 前里 光彦, 藤田 晃司

事務局：〒 606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学環境安全保健機構 物性科学センター  
Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: [terashim@scl.kyoto-u.ac.jp](mailto:terashim@scl.kyoto-u.ac.jp) (寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷株式会社

研究ノート

- p33 ・ 超伝導ダイオード効果の観測  
 ــ 安藤 冬希, 小野 輝男
- p9 ・ FeSeにおけるFulde-Ferrell-Larkin-Ovchinnikov超伝導  
 ــ 笠原 成

運営状況

- p20 ・ 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p22 ・ 寒剤供給関係業務担当者, ヘリウムガス回収中継所責任者
- p23 ・ 環境安全保健機構併任教員
- p24 ・ 環境安全保健機構低温物質専門委員会委員
- p25 投稿案内
- p26 編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

